

手を元気良くふり、目を細くして、
スタスタと、笑いながら 歩く お人。

変わった人だなあ。
妙だ。
変な人。

と思いつながら、その人物の後ろ姿を 人の目が追う、
いや、人の目が、追っているのではないかと、
思い込んでいた僕だった。
そのわけは、その お人が うちの兄貴だから。

授業時間変更なし。

放課後、図書室で本を借りる、「生命の不思議」。

一時三十分のバスで帰宅。

今日も ボロボソ、腹が立つ。

右目が重い、目を開けていたら気持ちが悪い。

急行の最後尾に乗った。

あの子は いない。

家に着くと、すぐ服を着替えて、そのまま下の居間へ。

おばあちゃんは 台所仕事。

京太は 自分の机で コトコト 何かしている。

お父ちゃんと お母ちゃんと 幹夫は

寝屋川のおじさん宅へ 行って いない。

もっと映画館に行くのになあ